



# ゆずる通信



令和7年7月1日

NO.138

## 平時から想定される災害について対策を考えましょう

自然災害の多い昨今、普段から備えておくことで「不安」が「安心」に変わります。今回は、ご自分の住む地域ではどのような災害が起こりうるのか想定し、避難するタイミングを確認してみましょう。

### 《ご自分の住む地域はどのような場所なのか確認！》

『〇〇市（町・村）総合防災ハザードマップ』には、各地域で「津波」「洪水・土砂」など災害による危険区域を知らせています。

- ① **避難場所を確認**しましょう。第2、第3候補もご家族と共有しましょう。
- ② **避難経路を決めて、安全な経路か確認**しましょう。



### 《あなたは、いつ避難を開始しますか？》

市町村では、災害の恐れがある場合に、避難情報を発表します。情報を把握したら速やかに避難しましょう。

	避難情報	とるべき行動	備考
危険度	避難準備・ 高齢者等 避難開始	 高齢者や障がい者などは 避難開始	その他の方も 危険を感じたら 自主的に避難
	避難勧告	 全員避難開始	必ず避難
	避難指示 (緊急)	安全を確保 	2階など 高い所に避難
	<b>高</b>		

### 《ご家族やご近所さんと話し合う》

避難場所や避難経路について、ご家族やご近所の方と話し合い、避難方法について確認しましょう。

（日中）独居となる方がいるご家族など、その対応方法も確認しましょう。



避難場所ひとつ取っても、市町村が指定した避難場所、安全な場所にある親戚宅や知人宅、ホテルなど様々あります。

平時に対策を立てシミュレーションをおこなっておくと安心です。